

[2. 抄録様式]

<p>公益財団法人 8020 推進財団</p> <p>令和3年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録</p>
<p>1. 事業名： 地域包括ケアのための認知症患者におけるオーラルフレイルの実態調査および地域連携の推進－急性期病院から在宅看護・介護者につなぐ多職種間医療関係情報の共有－</p>
<p>2. 申請者名： 越沼 伸也</p>
<p>3. 実施組織： 滋賀医科大学医学部附属病院 歯科口腔外科</p>
<p>4. 事業の概要：当院（滋賀医科大学医学部附属病院）のような急性期病院における機能低下症の評価や予防策の情報は、認知症患者に関わるすべての医療従事者にとって大変重要な情報である。しかし当院において機能低下症に対してなされた評価検討や講じられた予防策の情報は、地域介護事業所や地域歯科医院と共有されていない。そのため、本実践研究では、滋賀県地域で、認知症患者の口腔機能低下症患者を受け入れ可能な歯科医院をアンケートにより調査し、地域連携を深めることによって、地域で包括的にケアできる環境を整えることを目標とした。 またさらに、当院における認知症患者の口腔機能低下症の状態について、把握することを目的とした。</p>
<p>5. 事業の内容： Ⅰ. アンケート調査用紙の作製（2021年10月） ・地域歯科医院における認知症患者、オーラルフレイル患者の受け入れの可否に関するアンケート調査用紙の作成を行った。（別添1） Ⅱ. 多職種医療連携チームに周知（2021年10月） ・特に認知症患者に関わりの深い、滋賀医科大学医学部脳神経内科学講座の教授：漆谷真先生と連携を行うことで承諾を得た。 ・また後半の臨床研究に備え、倫理審査委員会における倫理審査の準備を行っている。 Ⅲ. アンケート調査の実施（2021年9月-11月） ・滋賀県歯科医師会定例会（湖北支部、湖東支部、高島支部、彦根支部、甲賀支部、大津支部、草津・栗東・守山・野洲支部）に参加し、地域歯科医院に対しアンケート調査を実施した。</p>
<p>6. 実施後の評価（今後の課題）： 合計274の回答が得られ、認知症患者を受け入れると回答した歯科医院は57歯科医院であった。認知症患者における口腔機能低下症は現在、倫理審査を継続中であり、倫理審査を通過したのちに、認知症患者における口腔機能低下症の状態について調査検討を行う予定としている。</p>